

## OECD/NEA Monthly News Bulletin(2024年9月)

OECD/NEAが毎月発行しているニュース速報の目次(日本語仮訳)をお届けいたします。ご関心あるトピックについて、下記リンク先よりニュース本体や資料等をご覧いただけますと幸いです。

### [NEA Monthly News Bulletin – September \(mailchi.mp\)](#)

#### 1. 新着情報: New at the NEA

- **日本における安全文化を検証する新報告書**

日本の国家文化とそれが原子力安全文化に与える影響を1年以上にわたり調査してきた取り組みが、2024年7月30日に東京での「国別安全文化フォーラム:日本」報告書の発表により大きな節目を迎えました。この発表イベントでは、原子力規制当局や事業者が集まり、報告書の主要な調査結果と、日本の原子力セクターに反映されている11の国家的特徴について詳しく議論しました。また、韓国、英国、米国、そして世界原子力事業者協会東京センターの国際的な専門家からの意見も紹介されました。

[https://www.oecd-nea.org/jcms/pl\\_95463/](https://www.oecd-nea.org/jcms/pl_95463/)

- **「君ならできる！」福島でのメンタリングワークショップが女子生徒にSTEM分野を奨励**

NEAは2024年7月27日から29日にかけて、福島県で8回目となるNEA国際メンタリングワークショップを開催しました(日本での開催は今回が8回目、福島での開催は6回目)。このワークショップは、日本の原子力損害賠償・廃炉等支援機構(NDF)との共催で行われ、福島の中学生・高校生43名と、米国イリノイ州からの高校生4名が参加しました。「女子会」という概念を取り入れたこのワークショップでは、日本、韓国、米国、アラブ首長国連邦の原子力分野の女性リーダーたちが、参加者と対話し、自身の経験やキャリアパス、そしてこれまでに克服してきた個人的および職業的な課題について感動的な話を共有しながら、女子生徒たちの自信を高めることを目指しました。

[https://www.oecd-nea.org/jcms/pl\\_95274/](https://www.oecd-nea.org/jcms/pl_95274/)

- **ブラジルとの協力強化**

NEA事務局長ウィリアム・D・マグウッドIV氏とNEA代表団は、2024年7月2日から5日にかけて、ブラジルの原子力分野の関係者と一連の会合を行うためにブラジルを訪問しました。この訪問では、現在の協力関係を見直し、将来の協力を探る機会となり、ブラジルの原子力分野における最新の進展について学びました。訪問中には、科学技術革新省の技術開発・革新担当局長ギウラ・カレイロス氏、外務省の気候・エネルギー・環境担当局長代理ジョアン・マルコス・パイス・レメ氏、マルコス・アントニオ・アマロ・ドス・サントス大臣、大統領府の国家安全保障局(GSI)の代表者、エネルギー・鉱山省の国家計画・エネルギー転換局長ティアゴ・バラル氏、エネルギー研究所(IPEN)の所長イソルダ・コスタ氏が率いるチーム、原子力エネルギー国家委員会(CNEN)会長フランシスコ・ロンディネッリ・ジュニア氏およびCNEN上級職員、そしてEletronuclear社

の CEO ラウル・リュクルゴ・レイチ氏との会合が含まれました。

[https://www.oecd-nea.org/jcms/pl\\_94562/](https://www.oecd-nea.org/jcms/pl_94562/)

- **NEA-EPRI ワークショップで低線量放射線研究の調整強化に向けて世界の専門家が集結**

NEA と電力研究所 (EPRI) は、低線量放射線研究の調整に関する取り組みをテーマにワークショップを共同開催しました。このワークショップには世界各国の専門家が集まり、最新の進展について議論し、知識を共有しました。約 50 名の多様な背景を持つ講演者が参加し、世界中の低線量研究に関する取り組み全般にわたる議論が行われました。参加者は、低線量研究の調整やガバナンスにおける弱点への対処、リスクコミュニケーションの明確化といった技術的側面や実際の課題についても検討しました。

[https://www.oecd-nea.org/jcms/pl\\_94590/](https://www.oecd-nea.org/jcms/pl_94590/)

- **募集: NEA グローバルフォーラム ライジングスターズワークショップ 2024**  
2024 年 11 月 25 日～26 日 | 欧州委員会合同研究センター (JRC)、ドイツ・カールスルーエ

NEA グローバルフォーラムのライジングスターズプログラムは、科学、技術、教育、政策分野における女性のライジングスターを世界の原子力コミュニティに統合することを目指しています。2024 年のワークショップでは、参加者に専門能力開発やネットワーキングの機会を提供し、研究施設の見学も行われます。学部長や学術プログラムの責任者には、部門やプログラムから最大 2 名の女性ライジングスターをこのワークショップに推薦することが推奨されています。推薦の締め切りは 2024 年 9 月 10 日です。

[https://www.oecd-nea.org/jcms/pl\\_95161/](https://www.oecd-nea.org/jcms/pl_95161/)

## 2. 組織能力の向上 : Capacity Building

- **ブルガリアの原子力エネルギー開発における革新的アプローチを促進**

NEA の代表団は、ブルガリアの原子力エネルギープログラムの将来について議論する「持続可能な原子力イノベーション」プラットフォームに参加するためにブルガリアを訪問しました。このイベントでは、ブルガリアおよびヨーロッパの専門家が集まり、イノベーションの役割や、科学と工学における教育の重要性について議論しました。NEA はまた、ヨーロッパ各地から 30 名以上の学生が参加したインタラクティブなサイドイベントを主催し、その後、ブルガリアの学術界、産業界、規制機関、研究機関の上級管理職や専門家との一連の二国間会合も行いました。

[https://www.oecd-nea.org/jcms/pl\\_95522/](https://www.oecd-nea.org/jcms/pl_95522/)

## 3. 原子力安全研究 : Nuclear Safety Research

- **熱水カプロセスと実験データにおける安全研究へのより統合的なアプローチに向けて**  
NEA の共同プロジェクト「原子力安全に関する解析、研究、イノベーションのための実験的熱水力学 (ETHARINUS)」は、加盟国が安全評価の知識基盤を構築し、熱水力学

的なコンピュータコードの開発や検証に必要なデータを提供することを支援しています。長期にわたるプロジェクトが完了に近づいており、2024年6月27日から28日にドイツのエアランゲンで行われた最新のプログラムレビュー会合では、新たなプロジェクトの提案が議論されました。この新プロジェクト「SYStem THERmal-hydraulics (SYSTHER)」は、Framatome、LUT 大学、フランスの代替エネルギー・原子力委員会 (CEA) の 3 つの運営主体による共同事業であり、2025 年初頭に開始される予定です。

[https://www.oecd-nea.org/jcms/pl\\_94538/](https://www.oecd-nea.org/jcms/pl_94538/)

- **原子炉安全のための計算流体力学(CFD)の利用を支援**

NEA の計算流体力学(CFD)タスクグループは、2024年7月11日から12日にかけて会合を開き、原子炉安全のために計算流体力学の利用拡大を支援する活動について議論しました。この会合はドイツの国立研究機関、ユリヒ研究センター(FZJ)が主催し、13カ国から約40名の専門家が集まりました。

[https://www.oecd-nea.org/jcms/pl\\_94642/](https://www.oecd-nea.org/jcms/pl_94642/)

- **小型モジュール炉の安全評価のテストと検証**

NEA は、2024年にオーストリアのウィーンで開催された「小型モジュール炉(SMR)の設計および安全解析コンピュータコードの実験的テストと検証に関する地域間ワークショップ」を主催しました。このイベントはIAEAによって組織され、SMRに関する実験的テストとコード検証の経験や情報を共有し、現在のニーズやギャップを特定するとともに、協力やリソースの共有、国際的に認められた共通アプローチに関する議論が行われました。

[https://www.oecd-nea.org/jcms/pl\\_94420/](https://www.oecd-nea.org/jcms/pl_94420/)

#### 4. 原子力科学・データ : Nuclear Science and Data

- **放射線輸送シミュレーションの開発における最前線を探る - RTS 2024**

NEA は、「放射線輸送シミュレーション開発者ワークショップ(RTS 2024)」を開催し、以下の4つの先端トピックについて議論を行いました。グラフィックス処理ユニット(GPU)による加速、コード管理(継続的なテストと改善に関する広範な議論を含む)、ジオメトリ記述とコンピュータ支援設計(CAD)モデリングにおける課題、拡張現実応用です。このイベントは、イタリアのフラスカティにある国立核物理学研究所(INFN)が主催し、対面およびオンラインで合計79名の専門家が参加しました。

[https://www.oecd-nea.org/jcms/pl\\_94736/](https://www.oecd-nea.org/jcms/pl_94736/)

- **加速器、ターゲット、および照射施設の遮蔽に関する第30回記念ワークショップ (SATIF)**

イタリアのフラスカティにある国立核物理学研究所(INFN)が主催した第16回SATIFワークショップは、この取り組みの30周年を迎えました。ドイツのヘルムホルツ・ドレスデン・ロッセンドルフ研究所(HZDR)との共催で行われた今回のワークショップには、約

150 名が参加しました。すべての SATIF ワークショップの中心となるのは、最新の加速器プロジェクトの進展やさまざまなシミュレーションツールの更新、関連するベンチマークについての情報交換です。

[https://www.oecd-nea.org/jcms/pl\\_94502/](https://www.oecd-nea.org/jcms/pl_94502/)

- **QUENCH-ATF 共同プロジェクト: 有望な新型被覆材の評価**

2021 年 10 月に開始された QUENCH-ATF NEA 共同プロジェクトは、有望な新型被覆材を包括的に試験する 4 年間の実験プログラムを提供しています。これらは先進技術燃料(ATF)被覆材とも呼ばれ、通常の運転条件外での挙動を測定するために、さまざまな温度や圧力の変動に対して試験が行われています。プロジェクトメンバーは、2024 年 7 月にフランスのエクサンプロヴァンスで集まり、最新のプロジェクト成果を共有し、今後の試験と検証に向けた準備を行いました。

[https://www.oecd-nea.org/jcms/pl\\_94706/](https://www.oecd-nea.org/jcms/pl_94706/)

## 5. 放射性廃棄物管理と廃止措置: Radioactive Waste Management and Decommissioning

- **原子力施設の廃止措置とレガシー管理に関するコスト問題への対応**

NEA の「原子力施設の廃止措置とレガシー管理に関するコスト問題に関する専門家グループ(EGCDL)」は、2024 年 6 月 25 日から 26 日にかけてフランスで第 4 回総会を開催し、来年度の活動について議論しました。このグループは 2020 年に設立され、複雑な施設やレガシーサイトに対して、国際的な廃止措置コスト構造および不確実性ガイダンスを適用した際に特定されたギャップの分析において大きな進展を遂げました。また、EGCDL はコストベンチマークガイダンスの作成も進めており、6 月の会合ではこのトピックに関するセッションも行われました。

[https://www.oecd-nea.org/jcms/pl\\_94702/](https://www.oecd-nea.org/jcms/pl_94702/)

## 6. 放射線防護: Radiological Protection

- **NEA 国際放射線防護学校: 国際放射線防護システムの理解を深める**

第 6 回国際放射線防護学校(IRPS)は、スウェーデン放射線安全局(SSM)およびストックホルム大学の放射線防護研究センター(CRPR)と共同で開催され、2024 年 8 月 12 日から 16 日にかけて、スウェーデンのストックホルム大学にて対面およびオンラインで 60 名の参加者が集まりました。このコースは、放射線防護システムの深い知識を次世代の専門家に引き継ぎ、分野の進展を促進することを目的としており、30 名ほどの国際的な講師が多様な背景と専門分野を生かしてインタラクティブなセッションや実践的な演習を提供しました。

[https://www.oecd-nea.org/jcms/pl\\_95536/](https://www.oecd-nea.org/jcms/pl_95536/)

## 7. 発行物: New Publications

- 原子力法報(第 111 号 - 2023 年/2)  
[https://www.oecd-nea.org/jcms/pl\\_95469/](https://www.oecd-nea.org/jcms/pl_95469/)
- 要約報告書 - 規制当局の原子力安全および放射線防護に関する見解と優先事項に関する国際会議。東京電力福島第一原子力発電所事故:10 年の振り返り、現在と今後の展望  
[https://www.oecd-nea.org/jcms/pl\\_94791/](https://www.oecd-nea.org/jcms/pl_94791/)
- 国別安全文化フォーラム: 日本  
[https://www.oecd-nea.org/jcms/pl\\_94644/](https://www.oecd-nea.org/jcms/pl_94644/)
- 燃料サイクル施設の安全評価アプローチと安全管理実践の進展に関する国際ワークショップの議事録  
[https://www.oecd-nea.org/jcms/pl\\_94936/](https://www.oecd-nea.org/jcms/pl_94936/)
- 燃料安全に関する拡張濃縮および高反応度/高抑制コア設計の影響に関する状況報告書: 燃料安全作業グループ (WGFS) からの報告  
[https://www.oecd-nea.org/jcms/pl\\_94839/](https://www.oecd-nea.org/jcms/pl_94839/)

## 8. イベント予定: Upcoming events

- **局地的豪雨とその原子力施設への影響に関するワークショップ**  
2024 年 9 月 18 日~20 日 | カナダ、トロント  
NEA は、オンタリオ発電(OPG)と協力し、規制当局や関係者を集めた多分野にわたるワークショップを開催します。このワークショップでは、降水量の推定、流域水文・水力モデル、原子力施設の緩和手順といった課題に取り組みます。参加者には、幅広い分野からエンジニアや気象学者などの専門家が含まれ、主要な課題を議論し、この分野における技術的なギャップを特定します。  
[https://www.oecd-nea.org/jcms/pl\\_91919/](https://www.oecd-nea.org/jcms/pl_91919/)
- **「新しい原子力へのロードマップ」会議**  
2024 年 9 月 19 日~20 日 | フランス、パリ  
第 2 回「Roadmaps to New Nuclear」ハイレベル会議では、政府高官や業界の幹部が一堂に会し、新しい原子力建設の準備における課題に取り組みます。また、脱炭素目標を達成するために必要な規模とペースで新たな原子力建設を実現するための解決策を共有し、最近の経験を基に具体的な方法を探ります。  
[https://www.oecd-nea.org/jcms/pl\\_87046/](https://www.oecd-nea.org/jcms/pl_87046/)
- **ウェビナー: 福島第一原子力発電所におけるロボット導入から学んだ教訓**  
2024 年 9 月 27 日 | オンライン  
原子力バックエンドにおける増大するニーズに対応するためには、専用の人材の確保と、競合するプロジェクトやサイトに対応するためのタスクやスケジュールの最適化が必要です。ロボット技術や遠隔システムの導入は、人間の被ばくやリスクを最小限に抑えるとともに、バックエンド業務を改善する新しい応用を可能にします。この文脈におい

て、NEA は原子力バックエンド向けのロボットおよび遠隔システムに関するウェビナーシリーズを開催します。第 1 回目のウェビナーでは、福島第一原子力発電所におけるロボット導入に焦点を当てます。

[https://www.oecd-nea.org/jcms/pl\\_94701/](https://www.oecd-nea.org/jcms/pl_94701/)

- **原子力におけるデジタルイノベーションワークショップ: AI の力を解き放つ**

2024 年 10 月 1 日 | カナダ、オタワ

このワークショップでは、人工知能 (AI) に関連する機会と課題に焦点を当てたセッションが行われ、原子力分野における AI の導入を成功させるために必要な要素が議論されます。ワークショップは、第 5 回次世代 IV 型および小型原子炉国際会議 (G4SR-5) の一環として開催されます。

[https://www.oecd-nea.org/jcms/pl\\_94957/](https://www.oecd-nea.org/jcms/pl_94957/)

- **第 2 回医療用放射性同位元素の供給に関する国際ワークショップ**

2024 年 10 月 24 日~25 日 | フランス、パリ

NEA、米国エネルギー省 (DOE)、欧州委員会合同研究センター (JRC) の共催により、第 2 回ワークショップが開催されます。このワークショップでは、政府の意思決定者、民間企業の代表者、医療機関、および研究者が集まり、従来型および革新的な医療用核放射性同位元素の安定供給チェーンの構築に向けた議論を行います。

[https://www.oecd-nea.org/jcms/pl\\_93980/](https://www.oecd-nea.org/jcms/pl_93980/)

- **第 1 回国際原子炉監視ワークショップ (INROW)**

2024 年 11 月 11 日~18 日 | 日本、福井県敦賀市

原子炉監視は、規制当局が事業者の活動がすべての段階で安全に行われ、すべての適用規制に完全に準拠していること、そして安全性が最優先されていることを確認するための機会を提供します。また、規制執行の基盤を提供する役割も担います。この枠組みの中で、NEA が主催する初の原子炉監視に関するワークショップが開催され、参加国は規制監視活動に関する技術情報を交換する場が提供されます。

[https://www.oecd-nea.org/jcms/pl\\_92209/](https://www.oecd-nea.org/jcms/pl_92209/)

## 9. 学習コースの開講予定: Upcoming courses

- **第8回熱化学データベース (TDB) プロジェクトコース: 熱力学データの収集と評価 -**  
2024 年 10 月 10 日 | オンライン

[https://www.oecd-nea.org/jcms/pl\\_92035/](https://www.oecd-nea.org/jcms/pl_92035/)

- **OpenMC オンラインコース 2024 - 2024 年 11 月 12 日~15 日 | オンライン**

[https://www.oecd-nea.org/jcms/pl\\_94235/](https://www.oecd-nea.org/jcms/pl_94235/)

- **SERPENT-2 初心者向けトレーニングコース (対面) 2024 年 11 月 19~22 日 | パリ、フランス**

[https://www.oecd-nea.org/jcms/pl\\_93734/](https://www.oecd-nea.org/jcms/pl_93734/)

- **NJOY トレーニングコース 2024 年 12 月 2~6 日 | パリ、フランス**

[https://www.oecd-nea.org/jcms/pl\\_93808/](https://www.oecd-nea.org/jcms/pl_93808/)

<参考情報>

- NEA データバンク 講座一覧  
[https://www.oecd-nea.org/jcms/pl\\_25601/](https://www.oecd-nea.org/jcms/pl_25601/)
- NEA データバンク IT サービス  
<https://www.oecd-nea.org/dbcps/>
- 新しい計算コードとデータライブラリ  
<https://www.oecd-nea.org/tools/abstract/new>

OECD/NEA Monthly News Bulletin(英語版)のメール配信や Databank オンラインサービスへの登録を希望される方は、こちらをご覧ください。 <http://www.oecd-nea.org/general/register/>



**Dr. Yuji Kumagai (Mr.)**

Senior Nuclear Safety Specialist  
Division of Nuclear Safety Technology and Regulation  
OECD Nuclear Energy Agency (NEA)

46, quai Alphonse le Gallo, 92100 Boulogne- Billancourt,  
France

e-mail: [yuji.kumagai@oecd-nea.org](mailto:yuji.kumagai@oecd-nea.org)

Tel: +(33) 1 73 21 29 25

Celler: +(33) 7 85 22 82 16

**熊谷裕司 (工学博士)**

原子力安全専門官  
原子力安全技術・規制課  
経済協力開発機構/原子力機関

[www.oecd-nea.org](http://www.oecd-nea.org)

Follow the NEA on:

